

金沢市立諸江町学校
平成30年度 学力向上の取組（1学期）

1 研究主題

自らを活かして生きる ～主体的に問題解決する力の育成～

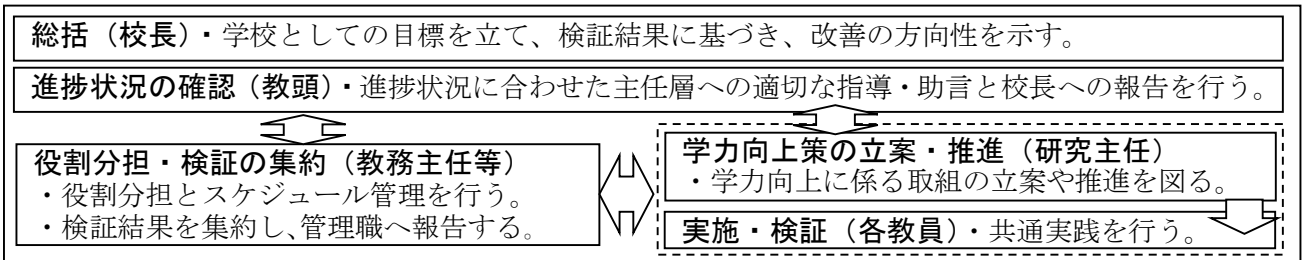
2 現状・課題（3学期の検証結果、学力分析シート、学校評価等から）

<p>(1) 児童生徒の現状・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業では「つかむ・考える・聴き合う・まとめる」のプレートを利用し、発問や問い返しの工夫を重ねたことで、3学期の授業規律アンケートでは児童の「聴くことができる」が80%を超えた。しかし、目標としていた90%には達しておらず、思考を深める場の充実につながったとは言えない。 ・過去3年間の全国学力調査では、全て国の平均を1～7ポイント上回っているが、国語Bでは要点を読み取ることに毎年課題が見られる。県基礎学力調査では4年、6年とも2年続けて県平均を下回っている。基礎基本の徹底、記述式問題に取り組んできた結果、12月評価問題では、算数では4年時の基礎学力調査と比べ若干改善が見られた。 ・家庭学習では、ポイントカードの目標枚数を決め、カードを更新するときに励ますことで80%の子が3学期プラス2枚を達成することができた。しかし、支援が必要な子も多く、基礎学力の向上を図るうえでも家庭とのさらなる連携が課題である。 	
<p>(2) 指導の現状・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で行う取組の板書のキーワードを使ったまとめふり返りは、学年研で確認してきたが、学年によってどこまでを求めるかモデルが必要である。授業以外で行う取組の週1回の国語の基礎基本の力を高めるプリントは全クラスで取り組むことができた。 	

3 重点的に行う取組と検証

		授業で行う取組		授業以外で行う取組	
		取組①	取組②	取組①	取組②
重点的に行う取組		金沢型学習スタイルに基づく授業実践として、「つかむ・考える・聴き合う・まとめる」のプレートを黒板に位置づける	「自分の考えを伝え合います」では、全校共通の話す聞くの指標をもとに、話し合ったり聴き合ったりできるようにする	マイタイム（朝自習）で国語の言語力を高める学習プリントに取り組ませる。	家庭学習の時間を学年ごとに設定し、手本となる自学ノートの掲示や、保護者からのサインで、内容の充実を図る
	検証の方法と指標	<p>方法 学年研究会や全体研等で実践内容について協議する</p> <p>指標 学校評価での平均が3.5以上</p>	<p>方法 教師アンケートで確認する</p> <p>指標 肯定的評価の割合が80%</p>	<p>方法 学習单元と関連させてプリントの状況を確認する</p> <p>指標 週1枚</p>	<p>方法 「家庭学習ポイントカード」の点検を行い取り組みを促す</p> <p>指標 点検を週に1回</p>
	児童生徒の状況	<p>方法 児童アンケートで確認する</p> <p>指標 肯定的評価の割合が75%</p>	<p>方法 児童アンケートで確認する</p> <p>指標 肯定的評価の割合が80%</p>	<p>方法 单元末テストの「言語」で確認する</p> <p>指標 平均点75点以上</p>	<p>方法 カードの枚数を確認する</p> <p>指標 1学期の目標枚数達成者が80%</p>

4 年間計画



月	PDCA	授業で行う取組	研究授業	授業以外で行う取組
4・5月	計画 実践	<p>研究主任が学力向上策を立案する。</p> <p>学習委員会が各学年で学力向上策を推進する。</p> <p>全教員が金沢型プレートを用いた授業を実践する。</p> <p>全教員が各クラスに応じた話・聴く指導を行う。</p>	<p>橋田教諭</p> <p>筒井教諭</p> <p>鈴木教諭</p>	<p>研究主任が学力向上策を立案する。</p> <p>学習委員会が国語の基礎基本の力を高める学習プリントの準備・環境設定を行う。</p> <p>全教員が国語の基礎基本の力を高める学習プリントを朝学習に取り組ませる。また、保護者の協力を得て、家庭学習内容の充実を図る。</p>
	検証 改善 実践	<p>主幹教諭と学年主任が指導の状況を集約し、学年間差、教員間差を確認する。</p> <p>研究主任が指導の状況を確認し、学習委員会と共に改善策を提案する。</p> <p>全教員が改善策を共通実践する。</p>	<p>田中教諭</p> <p>柘田教諭</p> <p>谷教諭</p>	<p>学年主任が基礎基本の力を高めるプリントの取組状況を把握する。</p> <p>全教員がきめ細かな評価を行う。（必要に応じて書き直しをさせる。）</p> <p>学年研で児童の状況について話し合い、共通理解する。</p>
7月	検証	<p>主幹教諭が指導の状況および児童の状況についての達成状況をまとめる。</p> <p>校長・教頭・主幹教諭・研究主任が1学期の成果と課題を整理する。</p>	<p>片桐教諭</p> <p>西谷教諭</p> <p>松本教諭</p>	<p>全教員が朝学習における基礎基本の力を高める問題を実施する。</p> <p>全教員がきめ細かな評価を行う。（必要に応じて書き直しをさせる。）</p> <p>校長・教頭・主幹教諭・研究主任が1学期の成果と課題を整理する。</p>
8月以降は、「学力向上の取組（2学期）」「学力向上の取組（3学期）」に基づき実践				
7、8月		全国学調、県基礎学の結果及び1学期の取り組みの成果と課題に基づき、「学力分析シート」を作成する。分析結果から「学力向上の取組（2学期）」を作成する。		
9、10、11月		「学力向上の取組（2学期）」に基づき実践・検証・改善を行う。（～12月）		
12月		12月評価問題を「学力向上の取組（2学期）」の検証の機会とする。 12月評価問題を採点し、成果と課題を明確にする。		
1、2月		12月評価問題の結果に基づき、「学力分析シート」を作成する。 分析結果から「学力向上の取組（3学期）」を作成する。 「学力向上の取組（3学期）」に基づき実践・検証・改善を行う。		
3月		学年末テスト等を「学力向上の取組（3学期）」の検証の機会とする。		